◇経済倶楽部講演会第4241回（4月6日）

# トランプ政権はどこに向かうのか？

笹川平和財団上席研究員　渡部（わたなべ）恒雄（つねお）

＊トランプはトリックスター
＊英国のブレグジットがトランプを生んだ
＊中国を利するアメリカ・ファースト外交
＊自分の損になるような行動はしない
＊お気に入りだった人材のトランプ離れ
＊議会で激化する民主党との駆け引き
＊トランプの行動原則は関心を集めること
＊側近の離反でタガが外れだした
＊北朝鮮強硬派投入の日本への影響
＊中東政策を担うのはクシュナーとポンペオ

**柴生田**　それでは開会いたします。（拍手）

今日は、もうすっかりおなじみになりましたが、渡部恒雄さんにおいでいただきました。ご存じだと思いますが、元衆議院議員の渡部恒三さんのご子息で、東北大学歯学部を卒業された後、社会科学を学ぶためにアメリカに渡られ、CSISで研究活動をして日本に帰られました。前回たしか東京財団という肩書でお話しいただきましたが、現在は笹川平和財団の上席研究員をされておられます。もともと日本財団の下にあるということでございまして、そんなに変わったものではございませんが、先ほどお話を伺いましたら、現在の日本人にとっては笹川という名前が大分普通の名前になってきたようでございまして、一部の抵抗を感じる方が減ったようでございます。それから、ちなみにボート人気も回復しているようでございます。いいことか悪いことか私は申し上げませんが。

今日のお話は「トランプ政権はどこに向かうのか？」です。その前にトランプ政権っていったい何なのかということも含めて、今日はアメリカの状況をたいへんリアルにお知りになっておられる渡部さんからご教示をいただくということです。日本にとってもたいへん関係のあることでございますので、じっくりお聞きいただきたいと思います。それでは渡部さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

## トランプはトリックスター

**渡部**　ただいまご紹介いただきました渡部恒